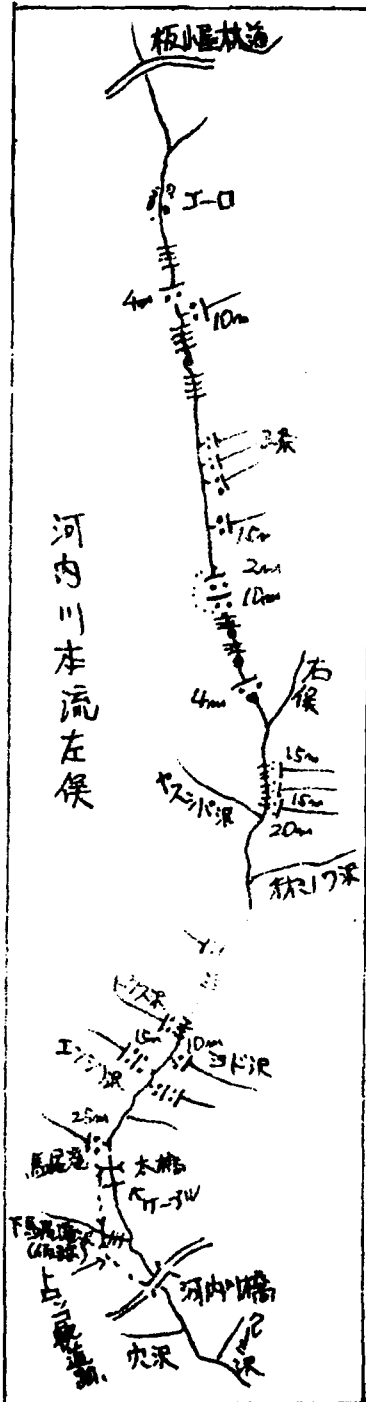


山行報告

1. 河内川流域の沢



河内川は、羽鳥湖周辺の水を集めて流れる鶴沼川の1支流である。大白森山に源を発し、北流して鶴沼川に合流し、大川に注ぐ。1987年の夏合宿を、この地域の沢の一斉遊行として実施したほか、前後していくつかのパーティが入渓した。それらの記録を紹介する。

河内川本流左俣

1987年7月13日

1.

夏合宿の予備調査もかねて、河内川へ向かう。朝6:00福島を出発。9:10河内川橋到着。9:30遊行開始。

まもなく右岸の支沢に木橋の残骸を見つける。また本流も、ケーブルが横切り、やはり壊れた橋がかかる。トロッコのレール、台車、大きな鍋などがころがり、人間臭い沢だ。鉱山でもあったのだろうか。

9:25馬尾滝。25m程の立派な滝である。ここで記念写真を撮る。その後も支沢が、兩岸から10mを越す大きな滝をかけて合流してくる。しかし、本流にはこれといって何も無い。ところどころにナメや釜状のものが出てくるとはいうものの、あまりきれいなものではない。

11:00オオミノワ沢出合。水量比4:1。まもなく右岸から15m、15m、20mの滝が三条落ち、な

かなかの壮観である。本流にかかる地図上の滝記号に相当するものは見当らず、確認できなかった。

11:40二俣。水量比2:1。左俣を進む。今回は左俣をつめて、板小屋林道の状況を見るつもりでいる。

二俣からしばらく遡った所で、ようやく本流最初の滝4m。右側の倒木を利用して越す。次の10mと2mの滝は、左側を高捲く。

やがて沢は源流となり、1:1の二俣を左に入ると、ほとんど平坦な地形となる。13:10沢を横切る板小屋林道に着いて、遡行終了とする。

板小屋林道を下山にかかるが、まもなくやぶがかかり、やぶこぎとなって不明瞭となる。やむなく東の尾根を越して反対側の林道に出、河内川橋に戻る。

(記・

【タイム】 福島(6:40)⇒河内川橋(9:10, 9:30)⇒オオミノワ沢出合(11:00)⇒二俣(11:40)⇒林道(13:10)⇒河内川橋(17:00)⇒福島

河内川本流右俣

1987年8月1日
L

7:15河内川橋より遡行開始。25分程歩くと、右岸に馬尾滝を見る。9:20ヤスシバ沢出合。ここまでは、兩岸から合流する支沢に滝を見ることはあっても、本流に滝は全くない。ヤスシバ沢出合より小滝を3つ越えると、二俣に着く。右俣に入る。

二俣よりナメが続く。5分程で、本日初めて「滝」とよべる5m程のものを直登する。このあとしばらくナメが続いたが、沢が右に大きく曲がったあたりから、また河原歩きとなってしまった。

11:25伐採用道路に出る。このあとも平凡で、12:00水もなくなる。遡行終了とし、右岸のヤブをこいで、大白森山と二俣温泉を結ぶ登山道に出る。(記・

【タイム】 河内川橋(7:15)⇒二俣(9:00)⇒伐採用道路(11:25)⇒遡行終了(12:00)⇒尾根(12:20)

